

作成 令和5年7月5日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和5年第2回定例会一般質問

～本会議3日目・令和5年6月27日～ 議事録(抜粋)

5 R6年度以降の公共施設整備の財源確保について

質疑概要

既存の JR 千里丘駅西地区再開発、阪急京都線連続立体交差事業、千里丘小学校建て替え事業や給食センター建設、環境センター解体も含めた今後5年の予定される公共施設建設等の費用は莫大なものである。本市財政が本当に耐えうるのか、懸念を抱いており、市の認識について質疑を行った。

○松本議員

5 R6年度以降の公共施設整備の財源確保について、まず市として事業実施にあたって財源確保の必要性和、見通しが無い場合の対応についてお聞かせ下さい。

(略※)

○福住議長

総務部長

○総務部長

「事業実施のための財源確保の必要性をどう考えるか」についてのご質問にお答えいたします。

事業の実施につきましては、まずその事業実施するかどうかという政策決定段階におきまして、事業の必要性が議論され、その次にその事業を実施するための財源確保を図って参ります。

事業実施するにあたっては、その実現に向けて財源の確保は必須であると考えますので、財源の見通しがたたなければ事業の実施は難しいものと考えております。

(略※)

○松本議員

次に財源確保について、事業実施にあたっては、事業の必要性、事業実施に必要な関係者等の合意、そして財源確保の3つを揃えることが大切と考えます。

本市の財政運営においてR6年度以降多くの公共施設整備があり、懸念を抱いております。既存のJR千里丘駅西地区再開発、阪急京都線連続立体交差事業、千里丘小学校建て替え等に加えて

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

新規予定の鳥飼こども園、給食センター、味生コミュニティセンターなど、これらの財源確保の見通しはどうかお聞かせ下さい。

○福住議長

総務部長

○総務部長

「令和6年度以降の公共施設整備のための財源確保の見通し」についてのご質問にお答えいたします。

現在、既に着手している公共施設整備につきましては、その財源確保は中期財政見通しの中で見込んで、今後の市の歳入見通しで国・府補助金・地方債の活用、公共施設整備基金の充当など、財源確保策を考えておるところでございます。

しかしながら、経済情勢の変化による建設事業費の高騰や市税収入の減収等の不確定要素もございますので、一定財源の確保の対策は講じて参りますが、現在着手していない公共施設整備計画について実施できるという財源見通しができているわけではございません。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

見通しはまだとのことですが、財源確保はスケジュール管理も重要です。本市の他のサービスを圧迫することのない財政運営が求められます。

また計画途中で、「やっぱりお金が無くて延期します」、では市民への悪影響を及ぼすもので、それは避けるべきものです。

もし財源確保が厳しければどうされるのか。その対応をお聞き下さい。

○福住議長

総務部長

○総務部長

「財源確保が厳しくなったらどうするのか」についてのご質問にお答えいたします。

事業の実施には、財源の確保は不可欠でございます。事業の実施のために、財源確保に努めて参りますが、財源にも限りがございます。

今後実施が必要だと思える公共施設整備につきましては、その必然性、緊急性を見極めながら優先順位をつけて、財源確保策を検討し、実施していくことになると考えております。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

環境センター解体も含めた今後5年の予定される公共施設建設等の費用は莫大なものです。

これらについては財源確保の根拠を出したうえで計画を進めるなど、スケジュール管理含め慎重に検討するよう強く要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<一般質問・項目一覧>

- 1 鳥飼地域のまちづくりについて
- 2 新型コロナワクチン接種状況等と接種券一律送付の必要性の有無について
- 3 市が災害対策本部訓練等を実施しないことの妥当性について
- 4 児童虐待防止施策を一過性で終わらせないことについて
- 5 R6年度以降の公共施設整備の財源確保について**
- 6 増加一方の救急出動と消防力強化の取組みについて
- 7 幼保小中連携での生きる力を育むことについて
- 8 明和池公園と新幹線公園の価値向上とシティプロモーション推進について